

工 事 成 績 評 定 表

第1号様式

契約番号						工事件名						種 別		—								
契約金額						工 期		から				工事担当課										
受注者						ランク				技術的難易度				検 査 日								
評定者		基本的な技術力												技術力の発揮	創意工夫と熱意	社会的貢献	評定点合計	法令・契約等の遵守	総評定点	所見欄		
		施工体制			現場管理		施工管理			完了の確認			計									
		施工体制全般	配置技術者	対外調整	安全衛生管理	工程管理	施工管理	品質管理	出来ばえ	関係書類	品質	出来形・出来ばえ										
監督員	担当監督員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				0.00	0.0	0.0	0.0			担当監督員			
	主任監督員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				0.00								主任監督員	
	総括監督員	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /10	0.00 /10	0.00 /10				0.00 /55				0.00 /70	0 /-20				
検査員																			検査員			
計		0.00 /5	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /5	0.00 /10	0.00 /10	0.00 /10					0.0 /5	0.0 /5	0.0 /5	0.00 /100	0 /-20			0 /100	

工事成績評価項目別評価表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の1

評価項目	細目	評価対象項目																																															
施工体制	施工体制全般	基礎評価 (a)	<table><tr><td>AA</td><td>A</td><td>B</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></table> 1 工事の規模、状況に応じた人員及び機械配置、資機材手配が行われ、施工に支障をきたさなかった。 2 当該工事における作業員、下請負業者の施工能力は適切であった。 3 工事に関する書類(受注者提出書類処理基準等)は、定められた期日までに的確に記載され提出された。 4 施工計画書(施工図含)の内容は適切で、工事着手前に提出され、現場の施工方法と一致していた。 5 下請負業者との契約手続きは、適切な時期に行われていた。 6 工事実績情報サービス(CORINS等)への登録手続きは、定められた期日までに登録された。 7 掲示物は、当該工事について分りやすく整理され、公衆の見やすい場所に設置された。 8 建設業許可票の看板は、公衆の見やすい場所に掲示された。 9 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場及び、労災保険関係の成立を表す標識が、適正に掲示された。 10 施工体系図は、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示されていた。 11 工事現場の施工体制は、施工体制台帳及び施工体系図と合致していた。 12 施工体制台帳、施工体系図の内容は適切であり、現場に備え付けられていた。 13 産業廃棄物収集運搬及び、処分の許可が書類により確認できた。 14 産業廃棄物収集運搬車等における表示や資料が確認できた。 15 産業廃棄物の処理に係るマニフェストの枚数、産業廃棄物の数量等が集計表で確認しやすく整理されていた。 16 受注者として、現場状況の把握とその支援(応援)体制は適切に行われていた。	AA	A	B	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
		AA	A	B																																													
	☐	☐	☐																																														
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
☐	☐	☐																																															
		<table><tr><td>AA+A</td><td>B</td><td>評価対象総項目数</td><td>AA項目数</td><td>(a)</td></tr><tr><td> 0 </td><td> 0 </td><td> 0 </td><td> 0 </td><td> 0.00 </td></tr></table> {(100/11× 0 +5× 0)/ 0 }×10 +(10/11×2× 0)=	AA+A	B	評価対象総項目数	AA項目数	(a)	0	0	0	0	0.00																																					
AA+A	B	評価対象総項目数	AA項目数	(a)																																													
0	0	0	0	0.00																																													
		評価係数(b)	0.05																																														
	評価点 a×b	(a) 0.00 ×0.05= 0.00 点																																															

2025年4月

1. 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。

2. 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。

AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)

A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。

B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評定項目別評定表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の2

評定項目	細目	評価対象項目				
施工体制	配置技術者	基礎評価 (a)	AA A B 1 設計図書で定められた技能者や施工管理技術者等の資格を証明する資料が提出された。 2 工事に必要な専門技術者、作業に必要な作業主任者を、選任し配置していた。 3 現場代理人は、工事現場の管理運営に必要な知識と経験を有する者であった。 4 現場代理人は、工事全体を把握し、施工上の課題に対応していた。 5 現場代理人は監督員に対して、施工状況に関する報告、連絡、協議等を、適時及び的確に行った。 6 監理技術者及び主任技術者(以下、「監理技術者等」という。)は、必要な知識と経験を有する者であった。 7 監理技術者等は、契約書、設計図書、関係基準等をよく理解し、現場に反映した工事を行った。 8 監理技術者等は、下請負人の施工体制及び、施工状況を把握し、技術的な指導をしていた。 9 監理技術者等は、腕章及び監理技術者資格者証等を携帯していた。 10 監理技術者等は、若手職員の育成や労働環境改善の為に工夫や努力を行っていた。 11 監理技術者等は、明確な根拠に基づいた技術的判断を行い、良好な施工に努めていた。 12 過去の現場経験を生かし工夫された連絡や周知方法、その記録などが行われた。 13 新しい技術や工法の活用(ICT技術等)に取り組んでいた。 14 現場代理人及び監理技術者等は、検査において検査員に対し工事内容の説明を的確に行った。 15 現場代理人及び監理技術者等は、監督員に対し真摯な姿勢で前向きな工事管理に取り組んでいた。 AA+A B 評価対象総項目数 AA項目数 (a) 0 0 0 {(100/11× 0 +5× 0)/ 0 }×10 +(10/11×2× 0)= 0.00	評価係数(b)	0.05	
		評定点 a×b	(a) 0.00 ×0.05= 0.00 点			

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評定項目別評定表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の3

評定項目	細目	評価対象項目		
施工体制	対外調整	基礎評価 (a)	AA A B 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 1 工事の着手、施工、完了にあたり、関係官公署や施設管理者等への必要な届出や手続きを遅滞なく行った。 2 当該工事の目的と内容をお知らせや工事看板等により、地域住民や通行者に分かりやすく周知している。 3 関係官公庁や施設管理者等との協議及び調整を行い、工事を円滑に進められた。 4 住民説明会や関係機関との間で取り決めた作業時間、作業条件等の制約を遵守した。 5 地域住民や施設管理者等との間でトラブルが生じないように対策し、必要に応じ周知や説明等を行った。 6 別契約の関連工事や近接工事との調整を行い、工事全体の円滑な進捗に努めた。 7 各種の調整経過や要望・苦情対応の処置経過は、監督員に遅滞なく報告された。 8 工事への要望や問合せ、又は苦情に対して、誠意をもってその解決や対応を行った。 9 資材搬入・廃材搬出などの工程が、施設関係者や近隣住民に周知されていた。 10 施工計画は、工事関係者間及び利用者等の資材搬入・廃材搬出などが、交錯しないように検討されていた。 11 関係機関や施設管理者等との調整に関する記録や資料が適切な形で整理されていた。 12 引渡し書類は、保守管理の書類が整理され提出された。 13 監督員や施設管理者等に保守・点検・維持管理等について適切な説明が行われた。 00 0 $\{(100/11 \times \boxed{0} + 5 \times \boxed{0}) / \boxed{0}\} \times 10 + (10/11 \times 2 \times \boxed{0}) = \boxed{0.00}^{(a)}$	
		評価係数(b)	0.05	
		評定点 a×b	$\boxed{0.00}^{(a)} \times 0.05 = \boxed{0.00} \text{ 点}$	

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評価項目別評価表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の4

評価項目	細目	評価対象項目																																																	
現場管理	安全衛生管理	基礎評価 (a)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>AA</th><th>A</th><th>B</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> 1 各種工事とその内容に応じた安全衛生活動(安全巡視、TBM、KY等)を実施し、記録等は整理されていた。 2 安全通路の確保、落下物の防止等の安全措置が適切にされていた。 3 工事箇所やその周辺の地下埋設物(配管・配線等)及び、架空線等に対して事故防止対策をとった。 4 安全管理計画の内容は当該工事に適したものであった。 5 保護具等を正しく着用し、安全に配慮した適切な服装で作業が行われた。 6 工事現場内は、日常的に整理・整頓され、休憩場所・トイレ・喫煙場所等の確保に努めていた。 7 資格が必要な工事や作業は、適切な有資格者により行なわれていた。 8 搬入搬出時や重機操作時に、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた。 9 過積載防止や積載物落下に対する配慮が十分にされていた。 10 材料、発生材の置き場の管理は適切に行われていた。 11 危険物、可燃物等の保管に関し、関係法令を守り、安全措置ができていた。 12 現場パトロールや安全点検及び、安全管理をチェックリストを用いて実施していた。 13 足場、作業台、山留め等の仮設物は適切に設置され、工事や作業への安全配慮はできていた。 14 現場における緊急措置体制、緊急時連絡体制、防火措置体制等が整備されていた。 15 組織的に安全管理体制を整備し、他の模範となる積極的な安全衛生活動に取り組んだ。 AA+A 0 B 0 評価対象総項目数 0 $\{(100/11 \times 0 + 5 \times 0) / 0\} \times 10 + (10/11 \times 2 \times 0) = 0.00$	AA	A	B	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		AA	A	B																																															
	☐	☐	☐																																																
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
☐	☐	☐																																																	
評価係数(b)	0.05																																																		
評価点 a×b	(a) 0.00 ×0.05= 0.00 点																																																		

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評定項目別評定表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の5

評価項目	細目	評価対象項目																																																				
現場管理	工程管理	基礎評価 (a)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>AA</th><th>A</th><th>B</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> 1 工事着手前に実施工程表が提出され、関連工事との調整も適切に行われた。 2 実施工程表が工事全般にわたり綿密に作成され、各工種と全体工程との整合がとれていた。 3 実施工程表の補足として、月間または週間工程表を作成し、工程管理に努めていた。 4 施工中の工程に影響した要因を的確に把握し、それを反映した実施工程表を適切に作成した。 5 状況変化への対応が迅速かつ適切に行われ、工程に大きな影響を与えなかった。 6 適切な工程管理を行い、工程の遅れは概ね無かった。 7 契約図書に基づいた工程計画で、着実に工事を完了した。 8 別契約の関連工事や近接工事との工程調整を行い、現場の円滑な進捗に努めた。 9 工期・工程変更があった場合、工程表及び関係書類は速やかに提出された。 10 各種調整し、工期短縮するための取り組みを行っていた。 11 工期的な制約がある場合において、工夫して余裕をもって工事を完成させた。 12 作業時間の変更、休日等の施工を行う際は、事前に監督員と協議し、承諾を得た。 13 休日の確保や時間外作業を減らす取り組みや工夫が行われていた。 14 定められた作業時間以外の作業が少なく、工程管理を適切に行っていた。 15 契約工期が遵守され、関連工事の総合試運転や調整が支障なく行われた。(建築・設備) AA+A B 評価対象総項目数 AA項目数 (a) 0 0 0 {(100/11× 0 +5× 0)/ 0 }×10 +(10/11×2× 0)= 0.00	AA	A	B	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		AA	A	B																																																		
	☐	☐	☐																																																			
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
評価係数(b)	0.05																																																					
評定点 a×b	(a) 0.00 ×0.05= 0.00 点																																																					

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評価項目別評価表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の6

評価項目	細目	評価対象項目																																																										
施工管理	施工管理	基礎評価 (a)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>AA</th><th>A</th><th>B</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> 1 施工計画書は、設計図書、現場状況を的確に把握したものであった。 2 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 3 施工目的に合った機器材、機械等が適切に使用された。 4 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 5 施工計画書又は施工図の内容を変更する必要があった場合、監督員への報告や必要な措置が講じられた。 6 設計図書の内容について疑義がある場合、監督員と協議を交わした上で施工を行った。 7 工事写真撮影計画書は、施工に合った適切な形で提出された。 8 工事記録写真の撮影方法及び編集方法は適切であった。 9 不可視部分となる出来形は、工事写真、施工記録により確認できた。 10 不可視部分の記録写真は、施工手順通りに整理できていた。 11 工事打合せ簿や協議記録は、不足無く整理されていた。 12 各工種ごとにチェックリスト等の管理基準により、管理されている。 13 社内検査が適切な時期や工程において行われている。 14 受注者は、下請業者の施工結果を十分に検査している。 15 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図れていた。 16 工事現場で発生する塵埃、振動、騒音等の低減に努める工夫をしていた。 17 施工図は、仕上がり、他工種及び別契約の関連工事との納まりについてよく検討されていた。(建築・設備) <table border="1"> <tr><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>0</td></tr> </table> $\{(100/11 \times \text{AA+A} + 5 \times \text{B}) / \text{評価対象総項目数}\} \times 10 + (10/11 \times 2 \times \text{AA項目数}) = \text{(a)}$	AA	A	B	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	0	0	0
		AA	A	B																																																								
	☐	☐	☐																																																									
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
☐	☐	☐																																																										
0	0																																																											
0																																																												
評価係数(b)	0.10																																																											
評定点 a×b	$\text{(a)} \times 0.10 = \text{点}$																																																											

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評定項目別評定表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号の様式の7

評定項目	細目	評価対象項目																																																				
施工管理	品質管理	基礎評価 (a)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>AA</th><th>A</th><th>B</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> 1 施工の品質及び形状が、適切で良好な施工であった。 2 品質管理記録が、適切に作成された。 3 材料等の保管方法は、適切に行われていた。 4 材料等の搬入証明・出荷証明となる資料の整理が適切に行われた。 5 材料等の材質、仕上げの程度、色合い、調合などについて監督員の承諾を受けていた。 6 材料等の品質証明に伴う試験方法は、設計図書に定められたもの又は、監督員の承諾を受けたものだった。 7 標準仕様書、各種基準類に基づく管理基準値や許容範囲を満足した。 8 材料検査願いは適切な時期に提出され、材料検査に必要な準備等が行われていた。 9 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切であった。 10 各種材料等の試験成績書、出荷証明書、品質保証書、カタログ等が監督員に提出された。 11 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理していた。 12 総合的な機能確認、及び性能に関する試験運転・確認方法等が適切であった。 13 設備・製品の機能及び性能管理が、設計図書・承諾図書のとおり実施され、内容が満足できた。 14 全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であった。 15 保全に関する資料で、定期的な点検や交換を要する部品及びその箇所を明示している。 16 品質確認のための不可視部分となる工事写真、施工記録等が整備されている。 AA+A B 評価対象総項目数 AA項目数 (a) 00 0 {(100/11× 0 +5× 0)/ 0 }×10 +(10/11×2× 0)= 0.00	AA	A	B	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
		AA	A	B																																																		
	☐	☐	☐																																																			
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
☐	☐	☐																																																				
評価係数(b)	0.10																																																					
評定点 a×b	(a) 0.00 ×0.10= 0.00 点																																																					

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評定項目別評定表(基本的な技術力)

担当監督員

第2号様式の8

評価項目	細目	評価対象項目																																																																				
施工管理	出来ばえ	基礎評価 (a)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>AA</th><th>A</th><th>B</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> 1 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好であった。 2 出来高管理図又は出来形管理が整理され、管理記録が容易に確認できた。 3 出来形の形状及び寸法が、設計値(契約図書)を満足していた。 4 出来形の性能及び機能が、設計値(契約図書)を満足していた。 5 各種作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無かった。 6 仕上がりの状態が良好で、色調が均一で色むら等がなかった。 7 きめ細やかな施工がなされ、取合いの納まりや端部まで仕上がりが良好であった。 8 構造物の表面やアスファルト舗装表面の仕上がりは平坦で均一であった。 9 各種部材、設備機器が、堅牢・確実に取付けされていた。 10 別契約の関連工事との調整がなされ、全体的に調和が良い仕上げであった。 11 しゅん工図は誤りがなく、現場と整合していた。 12 工事のしゅん工に当たり、現場内の清掃が行き届いていた。 13 既存部分との取り合いが十分に検討され、施工が適切に行われた。 14 施設利用者の使い勝手に良く配慮している施工を行っていた。 15 製品や機器の配置が、維持管理・点検しやすいよう工夫されていた。 16 危険箇所(回転部、高温部、埋設物など含む)には、表示又は防護がされていた。 17 銘板、名称や配管、配線の区別は、正しく表示されていた。(建築・設備) <table border="0"> <tr> <td>AA+A</td> <td>B</td> <td>評価対象総項目数</td> <td>AA項目数</td> <td>(a)</td> </tr> <tr> <td> 0 </td> <td> 0 </td> <td> 0 </td> <td> 0 </td> <td> 0.00 </td> </tr> </table> $\{(100/11 \times \text{AA+A} + 5 \times \text{B}) / \text{評価対象総項目数}\} \times 10 + (10/11 \times 2 \times \text{AA項目数}) = \text{(a)}$	AA	A	B	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	AA+A	B	評価対象総項目数	AA項目数	(a)	0	0	0	0	0.00
		AA	A	B																																																																		
	☐	☐	☐																																																																			
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
☐	☐	☐																																																																				
AA+A	B	評価対象総項目数	AA項目数	(a)																																																																		
0	0	0	0	0.00																																																																		
評価係数(b)	0.10																																																																					
評定点 a×b	(a) 0.00 × 0.10 = 0.00 点																																																																					

2025年4月

- 基礎評価(a)は、評価対象項目について「AA」、「A」又は「B」のいずれか該当する □ に「1」を入力する。ただし、当該工事に該当しない評価対象項目は評価しない。
- 「AA」、「A」、「B」の判断基準は、以下のとおりとする。
AA:評価対象項目の遂行が優れていた。(最大5項目)
A:評価対象項目の遂行に、問題がなかった。
B:評価対象項目の遂行に、監督員が指示、指導をし、改善された。

工事成績評定項目別評定表(技術力の発揮)

第3号様式

					評価係数 (b)		0.5							
					法令・契約の遵守	#	第2号の8	AA評価	×	B評価	○			
加 点 評 価 項 目		技術力の発揮キーワード				左記チェック項目の具体的事由等				素 点				
構造物・技術固有の 難しさへの対応	☐	1 既設構造物の補強、撤去等の特殊な工事								0	点			
	☐	2 既設設備の困難な移設、切廻し、盛替え等を伴う工事								0	点			
	☐	3 工種及び工法の特異性								0	点			
	☐	4 新工法(機器類を含む。)及び新材料を適用した工事								0	点			
厳しい自然条件 地盤条件への対応	☐	5 湧水の発生、地下水への影響(地盤掘削時)等への対応								0	点			
	☐	6 軟弱地盤、支持地盤の状況								0	点			
	☐	7 工事用道路・作業スペース等の制約								0	点			
	☐	8 異常気象の影響による対応								0	点			
厳しい周辺環境等 社会条件への対応	☐	9 地下埋設物等の地中等の作業障害物								0	点			
	☐	10 工事の影響に配慮すべき供用中の道路、建築物等の近接物								0	点			
	☐	11 周辺住民等に対する騒音・振動等の特別な配慮								0	点			
	☐	12 周辺水域環境に対する水質汚濁の特別な配慮								0	点			
	☐	13 資機材搬入等の制約や交通規制及びその処理が伴う作業								0	点			
	☐	14 騒音、振動及び水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等								0	点			
	☐	15 制約の多い稼働中の施設等における工事								0	点			
	☐	16 中心市街地や駅周辺、公共施設等の周辺における施工時の特別な配慮								0	点			
施工現場での対応	☐	17 事故や災害等における臨機の処置								0	点			
	☐	18 施工状況(条件)の変化に対応した工法等の自発的提案と対応								0	点			
	☐	19 対象施設を利用しながらの工事における施設運営へ臨機応変な対応								0	点			
	☐	20 既存部分との取合いの処置等								0	点			
	☐	21 狭隘部や微小な施工部位等の困難を伴う工事における円滑な施工								0	点			
その他	☐	22 その他()								0	点			
						合 計 (a)				点				
										工事難易度		(a)*(b)=		
										-		0.0		点

工事成績評定項目別評定表(創意工夫と熱意)

第4号様式

					評価係数(b)	0.5		
					法令・契約の遵守			
加点評価項目	創意工夫と熱意キーワード				AA評価	B評価	左記チェック項目の具体的事由等	素点
施工体制全般	☐	1 設計図書に定められた以外の工法による、環境の保全、工期短縮等に有効な工法の提案等			×	○		0 点
	☐	2 提出書類の整理やゴミの減量化、エコドライブの励行等の環境への配慮						0 点
配置技術者	☐	3 技術向上に関する研修、講習会等への積極的な開催			×	○		0 点
	☐	4 充実した事前調査の実施や、現場状況の把握、施工の管理等に対する熱意						0 点
	☐	5 資料等の迅速な提出や報告、又その作成等に対する熱意と工夫						0 点
対外調整	☐	6 地域住民その他関係者への対応(広報、苦情処理等)			×	○		0 点
安全衛生管理	☐	7 安全仮設備(安全通路、落下物、墜落・転落、挟まれ、立入禁止柵等)の設置			×	○		0 点
	☐	8 充実した現場関係者への安全教育、ミーティング、安全パトロール等の実施						0 点
	☐	9 現場事務所、作業員休憩所、会議室等の施設内の労働環境作りや整理整頓清潔清掃						0 点
	☐	10 作業員の安全確保対策(酸欠、有毒ガス・可燃ガス処理及び危険物保管、高所作業など)						0 点
	☐	11 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保のための創意工夫						0 点
	☐	12 工事現場区域外にも配慮及び工夫した仮設物、施工方法等						0 点
工程管理	☐	13 工程管理(作業工区における関連競合工事との調整等)を適切に行うための工夫			×	○		0 点
	☐	14 限られた時間帯等、制約条件を受けた作業を行うための工夫						0 点
	☐	15 施設運営への影響を少なくするための工程管理の工夫						0 点
	☐	16 施工条件に合わせた工程管理の工夫						0 点
施工管理	☐	17 仮排水、仮道路、迂回路等の優れた施工計画の工夫			×	○		0 点
	☐	18 支保工、型枠工、足場工及び仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工の工夫						0 点
	☐	19 対象施設を利用しながらの工事における仮設計画・安全管理対応など						0 点
	☐	20 維持管理や利用者の利便性を考えた配線、配管及び機器の配置、設置方法等						0 点
	☐	21 建設副産物及び廃棄物を減少させる工夫及び、リサイクルに対する積極的な取組						0 点
品質管理	☐	22 独自の管理基準を設定する等、品質向上に関する創意工夫			×	○		0 点
	☐	23 優れた品質管理を証明する工事記録写真の撮影方法やその編集方法						0 点
	☐	24 優れた品質管理を証明する品質記録方法の創意工夫						0 点
	☐	25 躯体工事の品質管理の工夫						0 点
出来栄え	☐	26 品質、出来形管理等に関する計測、管理図等の創意工夫			×	○		0 点
	☐	27 出来栄え向上に関する創意工夫						0 点
その他	☐	28 その他()						0 点
						合 計 (a)		0.0 点
					工事難易度		(a)*(b)=	
					-		0.0	点

工事成績評定項目別評定表(社会的貢獻)

第5号様式

		評価係数(b)		0.5	
		法令・契約の遵守		AA評価	×
				B評価	○
加点点評価項目	社会的貢献キーワード	左記チェック項目の具体的事由等			素点
社会的貢献	☐ 1 工事現場周辺の自然環境(山、河川、公園等)保護、環境保全等の対策を実施した。				0 点
	☐ 2 現場周辺の生活道路、通学路等(工事施設内含)の安全対策を十分に行い、市民や児童、生徒の安全を確保した。				0 点
	☐ 3 地域(施設利用者)の防犯活動に協力した。(例、臨時街灯や防犯カメラの設置や防犯パトロール等)				0 点
	☐ 4 工事現場(施設内)周辺のごみ拾いや道路清掃活動等を工期中全般に実施し、近隣地域に貢献した。				0 点
	☐ 5 定期的な広報活動や現場見学会等を実施し、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。				0 点
	☐ 6 災害時等において、地域(施設)への支援活動等に積極的に参加し貢献した。				0 点
	☐ 7 環境負荷の少ない材料、施工方法の自発的な提案、採用等、環境に配慮した取り組みを行った。				0 点
	☐ 8 その他 ()				0 点
		合 計 (a)			0 点
				工事難易度 (a)*(b)=	
				-	点

2025年4月

工事技術的難易度評価表

【注】予定価格1000万円以上の工事で加点評価を行うときに適用する。

大項目	小項目	条件・状況			評価対象事項(代表的事項等)				
		S	H	L					
1. 構造物条件	①規模				【土木】構造物の高さ、延長、面積、深さ・【建築】建物の面積・【設備】寸法、口径、能力				
	②形状				【土木】構造物の形状の複雑さ・【建築】建物の形状の複雑さ				
	③構造・種別				【建築】建物の構造種別、特殊構造・【設備】用途、種類、構造等				
	④その他				【土木・建築】既設構造物への補強や特殊な工事対象・【設備】既設設備の改造、転用や特殊な対象設備				
2. 技術特性	①工法等				【共通】工法、使用機械、使用材料等・【建築】建物の総階数・【設備】新技術、新素材等				
	②その他				【共通】施工方法に関する技術提案等・【建築】改修の場合は既存との競合度合いを考慮				
3. 自然条件 設置条件	①湧水・地下水				湧水の発生、地下水への影響等				
	②軟弱地盤				【土木】支持地盤の状況				
	③作業用道路				【土木】河川内や急峻な地形条件下等における工事用道路・作業スペース等の制約				
	④気象				異常気象における、雨・雪・風・気温等の影響				
	⑤設備環境				【設備】現場条件、土木構造物の形状等				
	⑥その他				【土木】地質条件、河川水流、動植物等に対する配慮等、【建築】地盤改良等施工計画上詳細調査が必要な場合等				
4. 社会条件	①地中障害物				地下埋設物等の地中内の作業障害物				
	②近接施工				工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中道路・架空線・建築物等の近接物				
	③騒音・振動				周辺住民等に対する騒音・振動の配慮				
	④水質汚濁				周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮				
	⑤作業用道路				生活道路を利用しての資機材搬入等の工事用道路の制約や高架下等の作業スペースの制約				
	⑥現道作業				現道上での交通規制を伴う作業				
	⑦周辺環境				駅周辺や中心市街地等における作業の厳しい制約条件				
	⑧その他				騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等				
5. 施工管理特性	①他工事調整				競合工事との調整				
	②住民対応				近隣住民との対応				
	③関係機関対応				関係行政機関・公益事業者等との調整				
	④工程管理				工期・工程の制約・変更への対応				
	⑤品質管理				品質管理の煩雑さ・複雑さ				
	⑥安全管理				高所作業や夜間作業等の危険作業、公衆災害の防止				
	⑦その他				災害時の応急復旧等				
評価項目数 (㉖)		0	0	0	評価点数	0.0	工事難易度	-	
難易度評価ランクの係数 (㉗)		2	1	0.5					
(㉖)*(㉗)=		0	0	0					

工事成績評定項目別評定表(法令・契約等の遵守)

第6号様式

評定点数 適応事例		-5	-3(-4)	-1 (-2)	評定点
1	施工体制台帳や施工体系図と現場の施工体制が一致していなかった。	監督員からの度重なる改善指示書により、ようやく改善された。	監督員から再度の改善指示書により、確実に改善された。	監督員から改善指示書により、速やかに改善された。	0 点
2	配置技術者の資格・雇用・資質等に問題があった。	//	//	//	0 点
3	監理技術者等が正当な理由なく変更された。	//	//	//	0 点
4	監督員との協議・承諾なしに施工計画と異なる施工をした。	度重なり監督員に承諾なく施工計画と異なる施工を行なったため改善指示書を交付した。	再度、監督員に承諾なく施工計画と異なる施工を行なったため、改善指示書を交付した。	監督員に承諾なく施工計画と異なる施工を行なったため、改善指示書を交付した。	0 点
5	品質管理が適正に行われなかった。	品質のばらつきや不合格品が多く、大幅な手直しがあったため、改善指示書を交付した。	品質のばらつきや不合格品があり、多少の手直しがあったため、改善指示書を交付した。		0 点
6	安全対策の不備による事故、災害等が発生した。	受注者の責による事故、災害等が発生し、事故処理が不適切であったため、再発防止のため、改善指示書を交付した。	受注者の責による事故、災害等が発生し事故処理は適切であったが再発防止の為改善指示書を交付した。また、受注者の責によらない事故、災害等が発生し事故処理が不適切であったので再発防止の為改善指示書を交付した。	受注者の責によらない事故、災害等が発生し事故処理は適切であったが再発防止の為改善指示書を交付した。また、軽微な受注者の責による事故、災害等が発生し事故処理は適切であったが再発防止の為改善指示書を交付した。	0 点
7	過積載車両の使用や不正軽油の使用、ディーゼル車排ガス規制に違反車両の使用が確認された。	監督員からの度重なる改善指示書により改善された。	監督員により再度、確認がされたが、改善指示書により改善された。	監督員により確認されたが、改善指示書により改善された。	0 点
8	施工管理、工程管理が適切に行われなかった。	何度も改善指示書を交付したが、改善されず適正な管理ができなかった。	適正な管理ができなかった為、再度、改善指示書を交付し改善された。	適正な管理ができなかった、又は、直ちに着手しなかったが、改善指示書を交付し改善された。	0 点
9	仕様書等に規定する関係法令等に関する重大な違反があった。	度重なる法令違反等が確認され、改善指示書が交付された。	再度、法令違反等が確認され改善指示書が交付された。	法令違反等が確認され改善指示書が交付された。	0 点
10	※総合評価方式における総合評価計画書の内容を履行しなかった。	総合評価計画書の複数の課題について、施工計画通りに実施されなかった。改善指示書を交付したが、改善されなかった。	総合評価計画書の課題について、施工計画書どおりに実施されなかった。改善指示書を交付したが、改善されなかった。	総合評価施工計画書の提出が工事着手時に提出されなかったが、改善指示書により提出された。	0 点
11	※総合評価計画書の施工計画以外の評価項目の内容を履行しなかった。	施工計画以外の3つの評価項目以上の内容を実施されなかった。(－5点)	施工計画以外の2つの評価項目の内容を実施されなかった。(－4点)	総合評価施工計画以外の評価項目について、実施されなかった。(－2点)	0 点
12	工事において、重大な契約不適合が判明した。	故意または重大な過失による契約不適合が、工事目的物の機能や性能に重大な影響を与えるもので、大規模な改修工事が必要になった。	故意または重大な過失による契約不適合が、工事目的物の機能や性能に重大な影響を与えるもので、改修工事が必要になった。		0 点
13	その他()				0 点
事由欄				合 計	0 点
				減 点 数	0 点

検査成績評定表(基本的技術力)・(土木)

第7号様式

契約番号			工事件名			
施工場所			受注者			
評価項目	細目		重要度	評定点	小計	合計点
完了の確認	関係書類		$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+E 0.00
	品 質		$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	出来ばえ	出来形	$\frac{2}{6}$	C 0.00	E=C+D 0.00	
		出来ばえ	$\frac{2}{6}$	D 0.00		
工事成績評定点(30点満点換算)			関係書類	品 質	出来ばえ	合計
			0.00	0.00	0.00	0.00
			×3/10	×3/10	×3/10	
			0.00	0.00	0.00	

2025年4月

備考

1. 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とする。
2. 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。
3. 上記1～2による各細目ごとの評定点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第三位を四捨五入)

検査成績評定表(基本的技術力)・(建築)

第7号様式の2

契約番号		工事件名	
施工場所		受注者	

評価項目	細目	重要度	評価点	小計	合計点
完了の確認	関係書類	$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+C 0.00
	品 質	$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	品質管理 ・出来形 ・出来ばえ	$\frac{4}{6}$	0.00	C 0.00	
工事成績評定点(30点満点換算)		関係書類	品 質	品質管理 ・出来形 ・出来ばえ	合計
		0.00	0.00	0.00	0.00
		×3/10	×3/10	×3/10	
		0.00	0.00	0.00	

2025年4月

備考

1. 各細目ごとの評価点は、それぞれ100点満点とする。
2. 各評価点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。
3. 上記1～2による各細目ごとの評価点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第三位を四捨五入)

検査成績評定表(基本的技術力)・(機械)

第7号様式の3

契約番号		工事件名	
施工場所		受注者	

評価項目	細目		重要度	評価点	小計	合計点
完了の確認	関係書類		$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+E 0.00
	品 質		$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	出来ばえ	出来形	$\frac{2}{6}$	C 0.00	E=C+D 0.00	
		出来ばえ	$\frac{2}{6}$	D 0.00		
工事成績評定点(30点満点換算)			関係書類	品 質	出来ばえ	合計
			0.00	0.00	0.00	0.00
			×3/10	×3/10	×3/10	
			0.00	0.00	0.00	

2025年4月

備考

1. 各細目ごとの評価点は、それぞれ100点満点とする。
2. 各評価点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。
3. 上記1～2による各細目ごとの評価点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第三位を四捨五入)

検査成績評定表(基本的技術力)・(電気)

第7号様式の4

契約番号			工事件名			
施工場所			受注者			
評価項目	細目		重要度	評定点	小計	合計点
完了の確認	関係書類		$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+E 0.00
	品 質		$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	出来ばえ	出来形	$\frac{2}{6}$	C 0.00	E=C+D 0.00	
		出来ばえ	$\frac{2}{6}$	D 0.00		
工事成績評定点(30点満点換算)			関係書類	品 質	出来ばえ	合計
			0.00	0.00	0.00	
			×3/10	×3/10	×3/10	
			0.00	0.00	0.00	

2025年4月

- 備考
1. 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とする。

2. 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。

3. 上記1～2による各細目ごとの評定点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第三位を四捨五入)

検査成績評定表(基本的技術力)・(造園)

第7号様式の5

契約番号			工事件名			
施工場所			受注者			
評価項目	細目		重要度	評定点	小計	合計点
完了の確認	関係書類・施工管理		$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+E 0.00
	品 質		$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	出来ばえ	出来形	$\frac{2}{6}$	C 0.00	E=C+D 0.00	
		出来ばえ	$\frac{2}{6}$	D 0.00		
工事成績評定点(30点満点換算)			関係書類	品 質	出来ばえ	合計
			0.00	0.00	0.00	0.00
			×3/10	×3/10	×3/10	
			0.00	0.00	0.00	

備考

1. 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とする。
2. 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。
3. 上記1～2による各細目ごとの評定点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第三位を四捨五入)

2025年4月

検査成績評定表(基本的技術力)・(外壁・防水・塗装 [改修])

第7号様式の6

契約番号		工事件名			
施工場所		受注者			

評定項目	細目	重要度	評定点	小計	合計点
完了の確認	関係書類	$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+C 0.00
	品 質	$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	品質管理 ・出来形 ・出来ばえ	$\frac{4}{6}$	0.00	C 0.00	
工事成績評定点(30点満点換算)		関係書類	品 質	品質管理 ・出来形 ・出来ばえ	合計
		0.00	0.00	0.00	0.00
		×3/10	×3/10	×3/10	
		0.00	0.00	0.00	

2025年4月

備考

1. 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とする。
2. 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。
3. 上記1～2による各細目ごとの評定点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評定表(基本的技術力)・(解体)

第7号様式の7

契約番号			工事件名			
施工場所			受注者			
評価項目	細目		重要度	評定点	小計	合計点
完了の確認	関係書類・施工管理		$\frac{1}{6}$	0.00	A 0.00	F=A+B+E 0.00
	品 質		$\frac{1}{6}$	0.00	B 0.00	
	出来ばえ	出来形	$\frac{2}{6}$	C 0.00	E=C+D 0.00	
		出来ばえ	$\frac{2}{6}$	D 0.00		
工事成績評定点(30点満点換算)			関係書類	品 質	出来ばえ	合計
			0.00	0.00	0.00	0.00
			×3/10	×3/10	×3/10	
			0.00	0.00	0.00	

2025年4月

備考

1. 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とする。
2. 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第三位を四捨五入し、合計点および総合点を算出する。
3. 上記1～2による各細目ごとの評定点と総合点にそれぞれ3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。
(小数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評価項目別評価表(土木)

第8号様式

評価項目	細目	AA	A	B	
完了の確認	関係書類				1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されていた。 2 施工体制台帳の内容に不備がない。 3 施工計画書は必要な項目が記載されて、現場体制や施工方法が一致していた。 4 提出書類等は整理され、内容に不備がない。 5 打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は、適切に行われていた。 6 特記仕様書の規定は守られている。 7 材料検査内訳書の数量は必要量入っており整理されている。 8 工事に必要な有資格者が配置され、資格者証(写)も整理し提出されている。 9 施工管理記録が整理されている。 10 建設副産物は、適正に処理された経緯が書類で確認できる。 11 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、各工種の施工過程が確認できる。 12 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されている。 13 関係書類の記録の整理に創意工夫が見られる。 14 現場代理人等は、内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応している。
	評価小計	0	0	0	(0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100+ 0 ×100/24= 0 点
	品質				1 材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。 2 品質管理試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 3 コンクリート、アスファルト等の施工管理が適切に行われ記録が整理されている。 4 仕様書で定められている品質管理が、頻度・種類とも実施されており、規定は守られている。 5 完成構造物等について必要な試験等が実施され、結果は規格値を満たし記録が整理されている。 6 材料検査が適切な時期、内容で実施され監督員の確認を受けている。 7 材料承諾願等が整理され内容も適切である。 8 社内検査が実施され、記録が整理されている。 9 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 10 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
	評価小計	0	0	0	(0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100+ 0 ×100/24= 0 点
	出来形				1 出来高数量は、契約数量を満たしている。 2 出来高数量の算出根拠は、整理されている。 3 出来形管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満たしている。 4 出来形管理の資料は整理されている。 5 出来形計測値は規格値内である。 6 現地立会計測の結果は、施工記録等報告書の数値と整合している。 7 しゅん功図と現場の食い違いはなかった。 8 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 9 人員の配置(検査体制)が適切である。 10 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 11 出来形精度の確保に向けた創意工夫及び熱意が見られる。
	評価小計	0	0	0	(0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100+ 0 ×100/24= 0 点
出来ばえ				1 全体的な仕上がり、外観、おさまり具合は良好である。 2 構造物の形状外観及び通りは良好である。 3 構造物の表面の仕上げは、仕様書の規定どおりに行われている。 4 構造物の表面に、仕様書で規定されている欠陥がない。 5 構造物の表面の仕上げは、丁寧で均一に行われている。 6 既存構造物との、取付け・すり合わせは良好である。 7 仕上がりは、使用目的・使用者の安全に配慮されている。 8 手直し等は、丁寧に行われている。 9 現場の後片付け、清掃が行き届いている。 10 目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。 11 出来栄の向上のための創意工夫及び熱意がみられる。	
評価小計	0	0	0	(0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100+ 0 ×100/24= 0 点	

2025年4月

備考 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

検査成績評定項目別評定表(建築)

第8号様式の2

評価項目	細目	AA	A	B						
関係書類					1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されていた。 2 施工体制台帳の内容に不備がなかった。 3 施工計画書は必要な項目が記載され、現場体制や施工方法が一致していた。 4 各種提出書類やしゅん功図等は整理され、内容に不備がなかった。 (実施工程表、施工図、リフス等も含む) 5 各種打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は適切に行われてい 6 特記仕様書の規定は守られていた。 7 機械／電気など他工事等との調整は、十分に行っていた。 8 工事に必要な有資格者が配置され、資格者証(写)は整理し提出されていた。 9 官公署届出など必要な関係書類が整理されていた。 10 建設副産物は、適正に処理された経緯が書類で確認できた。 11 工事記録写真は見やすく整理され、各工種の施工過程が確認できた。 12 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されていた。 13 現場代理人等は、契約内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応していた。 14 関係書類の記録の整理に創意工夫がみられた。					
					0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 \frac{AA}{0} \{ 100/24 \frac{0}{0} \} \text{点}$		
					品質					1 各種試験、検査、測定等の結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。 2 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けていた。 3 材料承諾願等が提出され、使用した材料の品質が確認できた。 4 コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されていた。 5 建具の性能等級が設計図書を満足し、それを示す資料が整理されていた。 6 品質管理に関する記録写真が整理されていた。 7 機器類や防水工事等の保証書等が整理されていた。 8 施工管理が適切に行われ、記録が整理されていた。 9 社内検査を実施し、記録が整理されていた。 10 品質管理及び施工記録等の整理に創意工夫がみられた。
										0
出来形 出来栄										1 設計図書、施工図等の通りに施工されていた。 2 杭の位置や支持地盤到達確認等、杭の施工精度が良好なことが確認できた。 3 コンクリート等の打ち上がり状態がよく、コールドジョイント・ジャンカ等が少なかった。 4 鉄筋の配置状態が工事写真等により確認できた。 5 鉄骨の建方精度、ボルトの締付け、溶接等の管理状況の報告書が整理されていた。 6 建具、シャッターその他可動部分の不具合がなく、安全性に問題がなかった。 7 防水工事において水溜り、ふくれ等がなく、ルーフドレン周りの処理が適切で、表面や納まりの処理は良好であった。 8 防水工事において各工程の仕様が守られ、防水材使用量の確認も行っていた。 9 シーリング材の納まりは良好で、表面仕上げもよかった。 10 各種仕上工事において、各工程の仕様が守られ、使用量の確認も行っていた。 11 木工事の取り付け精度が高く、隙間、きしみ等の問題はなかった。 12 木製建具や造作家具の仕上がりは良好であった。 13 各種部材、機器や仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがなかった。 14 各仕上げ材料の表面仕上げ、納まりの処理は良好であった。 15 各種部材や機器は、規定のあるものは規定通りに、強固に取り付けられ、位置も適切であった。 16 床材等の施工はふくれ、カッター跡、すき間等なく丁寧に仕上がっていた。 17 気温、湿度、風、換気等の状況は制限値内で管理されていた。 18 使用者の使い勝手や安全に対する配慮がみられた。 19 不可視部分は、工事記録写真で確認できた。 20 外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料が整っていた。 21 外壁改修の補修において各工程の仕様が守られていた。 22 植栽は発育、樹姿が良好で、施工は丁寧に通りも通っていた。 23 関連工事(工種)又は既存部分との調整が成され、仕上がりが良かった。 24 現場の後片付け、清掃等が行き届いていた。 25 人員の配置(検査体制)が適切に準備されていた。 26 全体的な仕上がり、外観、おさまり具合は良好であった。 27 出来形精度の確保に向けた創意工夫及び熱意がみられた。 28 出来ばえ向上のための創意工夫がみられた。
										0

2025年4月

備考 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

検査成績評定項目別評定表(機械)

第8号様式の3

評定項目	細目	AA A B
完了の確認	関係書類	1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されていた。 2 施工体制台帳の内容に不備がない。 3 施工計画書は必要な項目が記載されて、現場体制や施工方法が一致していた。 4 提出書類等は整理され、内容に不備がない。 5 打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は、適切に行われていた。 6 特記仕様書の規定は守られている。 7 建築／電気など他工事との調整は、十分に行っている。 8 工事に必要な有資格者が配置され、資格者証(写)も整理し提出されている。 9 官公署届出など必要な関係書類が整理されている。 10 建設副産物は、適正に処理された経緯が書類で確認できる。 11 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、各工種の施工過程が確認できる。 12 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されている。 13 関係書類の記録の整理に創意工夫が見られる。 14 現場代理人等は、内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応している。
	評定小計	0 0 0 (AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点
	品質	1 資材の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。 2 機器承諾函等が整理され、内容も適切である。 3 工場試験成績書等は適切に整理されている。 4 材料検査が適切な時期、内容で実施され監督員の確認を受けている。 5 機器の動作確認が適切な方法で行われ、記録が整理されている。 6 各種測定、試験等が適切に行われ、記録、結果が整理されている。 7 材料承諾願等が提出され、使用した材料の品質が確認できる。 8 耐震計算書、その他必要な計算書類が整理されている。 9 使用されている機器類の保証書など、製品の保証書等が整備されている。 10 社内検査が実施され、記録が適切である。 11 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 12 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
	評定小計	0 0 0 (AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点
	出来形	1 機器、器具などの仕様に問題がなく、設計図書に適合している。 2 機器、器具の取り付け方法が適切である。 3 塗装、防錆などの仕様・施工箇所及び範囲が適切である。 4 試験成績書等書類と現場の整合性が取れている。 5 機器類の基礎・架台等の取付が適切であった。 6 納まりがよく、他工事との整合が取れている。 7 官公署検査があるものは、検査を受けて合格している。 8 しゅん工図と現場の食い違いは無かった。 9 現場で試験確認の出来ない機器は、工場試験成績表又は出荷証明書等で照合・確認ができる。 10 設計値(設計図書)に定めのない機器の品質及び施工は、関連法規に適合している。 11 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 12 人員の配置(検査体制)が適切に準備されていた。 13 出来形精度の確保に向けた創意工夫及び熱意が見られる。
	評定小計	0 0 0 (AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点
出来ばえ	1 関連工事に対する配慮や将来計画などに調整がなされ全体の調和が取れている。 2 運転操作、使い勝手、負荷変動、施設の使用状況や保守性に十分配慮されている。 3 きめ細やかな施工がされている。 4 納まり具合(制気口類、センサー類、押しボタン類)が良い。 5 施工に統一性が見らればらつきが少ない。 6 異音・騒音・振動がなく円滑な運転が確保されている。 7 保守・修繕・消耗品などの部品取替等への配慮がされている。 8 表示・標識類が整備されている。 9 既存部分への補修が適切に行われてる。 10 機器などの操作説明書や取扱説明書が用意されている。 11 使用者に対する安全性及び環境への配慮が適切である。 12 現場の後片付け、清掃が行き届いていた。 13 出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。	
評定小計	0 0 0 (AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点	

2025年4月

備考 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

検査成績評定項目別評定表(電気)

第8号様式の4

評定項目	細目	AA	A	B	
完了の確認	関係書類		1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されていた。 2 施工体制台帳の内容に不備がない。 3 施工計画書は必要な項目が記載されて、現場体制や施工方法が一致していた。 4 提出書類等は整理され、内容に不備がない。 5 打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は、適切に行われていた。 6 特記仕様書の規定は守られている。 7 建築／機械など他工事との調整は、十分に行っている。 8 工事に必要な有資格者が配置され、資格者証(写)も整理し提出されている。 9 官公署届出など必要な関係書類が整理されている。 10 建設副産物は、適正に処理された経緯が書類で確認できる。 11 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、各工種の施工過程が確認できる。 12 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されている。 13 関係書類の記録の整理に創意工夫が見られる。 14 現場代理人等は、内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応している。		
	評定小計	0	0	0	AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点
	品質		1 資材の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。 2 機器承諾図等が整理されていて内容も適切である。 3 工場試験成績書等は適切に整理されている。 4 材料検査が適切な時期、内容で実施され監督員の確認を受けている。 5 機器の動作確認が適切な方法で行われ、記録が整理されている。 6 各種測定、試験等が適切に行われ、記録、結果が整理されている。 7 材料承諾願等が提出され、使用した材料の品質が確認できる。 8 耐震計算書、その他必要な計算書類が整理されている。 9 使用されている機器類の保証書など、製品の保証書等が整備されている。 10 社内検査が実施され、記録が適切である。 11 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 12 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。		
	評定小計	0	0	0	AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点
	出来形		1 各機器の外観、構造、寸法が設計値(設計図書)を満たしている。 2 各機器の性能が、試験機器を使用し、数値データの採取により、設計値(設計図書)を満たしている。 3 点滅、運転・停止等の動作について、施工した工事の全体又は部分が設計値(設計図書)を満たしている。(機能検査) 4 建物、施設等の施工範囲及び施工範囲外の施設も含めた全システムの総合試験が、設計値(設計図書)を満たしている。 5 運転して、異音、異臭、過熱等の異常がない。 6 官公署検査があるものは、検査を受けて合格している。 7 しゅん工図と現場の食い違いは無かった。 8 現場で試験確認の出来ない機器は、工場試験成績表又は出荷証明書等で照合・確認ができる。 9 設計値(設計図書)に定めのない機器の品質及び施工は、関連法規に適合している。 10 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 11 人員の配置(検査体制)が適切に準備されていた。 12 出来形精度の確保に向けた創意工夫及び熱意が見られる。		
	評定小計	0	0	0	AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点
	出来ばえ		1 堅牢で誤差がなく、設計図書どおり正確に施工されている。 2 寸法にバラツキがなく、設計図書どおり施工されている。 3 品質・形状及び数量が適切に施工されている。 4 施工完了時の試験及び記録が適切である。 5 設計図書及び関連法規に適合している。 6 きめ細かな施工がされている。 7 関連工事との調整がされ、全体に調和がとれた仕上がりである。 8 建築電気設備としての品質・性能が確保されている。 9 表示・標識等が整備されている。 10 既存部分への補修が適切に行われた。 11 機器などの操作説明書や取扱説明書が用意されている。 12 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。 13 使用者に対する安全及び環境への配慮が適切である。 14 現場の後片付け、清掃が行き届いている。 15 出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。		
評定小計	0	0	0	AA+A B AA (0 ×5/6+ 0 ×0.5)/評価対象項目数×100 0 100/24 0 点	

備考 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

検査成績評定項目別評定表(造園)

第8号様式の5

評価項目	細目	AA	A	B	
完了の確認	関係書類 施工管理	☐	☐	☐	1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されている。 2 施工体制台帳の内容に不備がない。 3 施工計画書は必要な項目が記載されて、現場体制や施工方法が一致している。 4 提出書類等は整理され、内容に不備がない。 5 打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は、適切に行われている。 6 特記仕様書の規定は守られている。 7 材料検査内訳書の数量は必要量入っており、材料承諾願等が整理されている。 8 工事に必要な有資格者が配置され、資格者証(写)も整理し提出されている。 9 施工管理記録が整理されている。 # 建設副産物は、適正に処理された経緯が書類で確認できる。 11 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、各工種の施工過程が確認できる。 # 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されている。 # 関係書類の記録の整理に創意工夫が見られる。 # 現場代理人等は、内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応している。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 = \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$
	品質	☐	☐	☐	1 材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。 2 品質管理試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 3 コンクリート、アスファルト等の施工管理が適切に行われた記録が整理されている。 4 仕様書で定められている品質管理が、頻度・種類とも実施されており、規定は守られている。 5 完成構造物等について必要な試験等が実施され、結果は規格値を満たし記録が整理されている。 6 材料検査が適切な時期、内容で実施され監督員の確認を受けている。 7 材料承諾願等が整理され内容も適切である。 8 社内検査が実施され、記録が整理されている。 9 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 # 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 = \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$
	出来形	☐	☐	☐	1 出来形数量は、契約数量を満たしている。 2 出来形数量の算出根拠は、整理されている。 3 出来形管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書の規定を満たしている。 4 出来形管理の資料は整理されている。 5 出来形計測値は、規格値内である。 6 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 7 しゅん功図と現場の食い違いはなかった。 8 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 9 人員の配置(検査体制)が適切である。 # 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 11 出来形精度の確保に向けた創意工夫及び熱意が見られる。
評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 = \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$	
	出来ばえ	☐	☐	☐	1 全体的な仕上がり・外観・おさまり具合が良好である。 2 施設の形状、外観及びとりは良好である。 3 施設の表面仕上げは、仕様書の規定どおりに行われている。 4 構造物の表面に、仕様書で規定されている欠陥がない。 5 構造物の表面仕上げは、丁寧に均一に行われている。 6 既存構造物との取付け、すり合わせは良好である。 7 仕上がりは、使用目的・使用者の安全に配慮されている。 8 手直し等は、丁寧に行われている。 9 現場の後片付け、清掃が行き届いている。 # 植栽等の施工は、丁寧に通りも良好である。 11 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 # 出来栄の向上のための創意工夫及び熱意がみられる。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 = \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$

2025年4月

備考 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
 2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
 3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

検査成績評定項目別評定表(外壁・防水・塗装 [改修])

第8号様式の6

評価項目	細目	AA	A	B			
関係書類					1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されていた。 2 施工体制台帳の内容に不備がなかった。 3 施工計画書は必要な項目が記載され、現場体制や施工方法が一致していた。 4 各種提出書類やしゅん功図等は整理され、内容に不備がなかった。 (実施工程表、施工図、リソバ等も含む) 5 各種打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は適切に行われていた。 6 特記仕様書の規定は守られていた。 7 機械／電気など他工事等との調整は、十分に行っていた。 8 工事に必要な有資格者が配置され、資格者証(写)は整理し提出されていた。 9 官公署届出など必要な関係書類が整理されていた。 10 建設副産物は、適正に処理された経緯が書類で確認できた。 11 工事記録写真は見やすく整理され、各工種の施工過程が確認できた。 12 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されていた。 13 現場代理人等は、契約内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応していた。 14 関係書類の記録の整理に創意工夫がみられた。		
		0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$		
							1 各種試験、検査、測定等の結果が良好で、それを証明する資料が整理されていた。 2 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けていた。 3 材料承諾願等が提出され、使用した材料の品質が確認できた。 4 品質管理に関する記録写真が整理されていた。 5 機器類や防水工事等の保証書等が整理されていた。 6 施工管理が適切に行われ、記録が整理されていた。 7 社内検査を実施し、記録が整理されていた。 8 品質管理及び施工記録等の整理に創意工夫がみられた。
				0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$
							1 設計図書、施工図等の通りに施工されていた。 2 外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、その資料が整理されていた。 3 外壁改修において既存部分・劣化部分の除去、下地処理、下地調整は適切に行われていた。 4 外壁の仕上塗材において各工程の仕様が守られ、所要量を示す資料も整理されていた。 5 仕上塗材の表面仕上げや端部の処理は良好であった。 6 シーリング材の納まりは良好で、表面仕上げもよかった。 7 防水工事において水溜り、ふくれ等がなく、ルーフドレン周りの処理も適切で、表面や納まりの処理は良好であった。 8 防水工事の既存下地(コンクリート・珪素外面、防水・保護層、入隅・出隅、架台周り等)の補修及び処置は適切であった。 9 防水工事において各工程の仕様が守られ、防水材使用量を示す資料も整理されていた。 10 新設する塗装の下地調整は施工面に合わせて適切に行われていた。 11 錆止めや塗装は工程の仕様が守られ、塗り付け量を示す資料も整理されていた。 12 塗装の表面仕上げや端部の処理は良好であった。 13 気温、湿度、風、換気等の状況は制限値内で管理されていた。 14 各種部材、機器や仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがなかった。 15 各種部材や機器は、規定のあるものは規定通りに、強固に取り付けられ、位置も適切であった。 16 使用者の使い勝手や安全に対する配慮がみられた。 17 不可視部分は、工事記録写真により確認できた。 18 関連工事(工種)又は既存部分との調整が成され、仕上がりが良かった。 19 現場の後片付け、清掃等が行き届いていた。 20 人員の配置(検査体制)が適切に準備されていた。 21 全体的な仕上がり、外観、おさまり具合は良好であった。 22 出来形、精度の確保に向けた創意工夫及び熱意がみられた。 23 出来ばえ向上のための創意工夫がみられた。
				0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$

2025年4月

備考 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

検査成績評価項目別評価表(解体)

第8号様式の7

評価項目	細目	AA	A	B	
完了の確認	関係書類	☐	☐	☐	1 建設業許可等の掲示物が適切に掲示されていた。 2 施工体制台帳の内容に不備がなかった。 3 施工計画書は必要な項目が記載されて、現場体制や施工方法が一致していた。 4 各種提出書類等は整理され、内容に不備がなかった。 5 打合せ議事録などの記録が整理され、変更及び承諾の処理は、適切に行われていた。 6 工事に必要な有資格者等が配置され、資格者証(写)等が整理し提出されていた。 7 官公署届出など必要な関係書類が整理されていた。 8 建設廃棄物、発生土は、適正に処理された経緯が書類で確認できた。 9 リサイクル法に基づき再資源化に努め、書類や報告書が整理されていた。 10 スクラップ等の有価物は、内訳書等が作成され、実績報告がされていた。 11 仕様書の規定は守られていた。 12 工事記録写真は見やすく整理され、各工種の施工過程が確認できた。 13 安全及び衛生管理について、写真等の図書が整理されていた。 14 現場代理人等は、内容を理解し、工事概要の説明や質疑等は適切に対応していた。 15 関係書類の記録の整理に創意工夫が見られた。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$
	品質	☐	☐	☐	1 施工計画書や各種要領書等に定められた内容により管理されていた。 2 各種調査、分析等の業務等は十分に行われていた。 3 工事中に発生した排水は処理をした上で、承諾を受けた処分方法により処分されたことが確認できた。 4 ダイオキシン類ばく露防止対策が徹底されていたことが確認できた。 5 各段階でのダイオキシン類の濃度測定が基準値以下であることが確認できた。 6 アスベスト処理は適切に行われ、石綿繊維濃度も基準値以下であったことが確認できた。 7 安全管理は確実に行われていたことが確認できた。 8 社内検査が実施され、記録が整理されていた。 9 品質管理に関する記録写真が整理されていた。 10 品質管理及び施工記録の整理に創意工夫が見られた。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$
	出来形	☐	☐	☐	1 仮設の設置範囲及び方法が、仕様書等を満たし適切な施工であることが確認できた。 2 残留物は汚染状況に応じて適切に処分されたことが確認できた。 3 解体、除去されたものは廃棄物保管場所に適切に保管され、飛散・流出等防止対策も取られていたことが確認できた。 4 PCBが含まれている可能性のある機器は、必要に応じて濃度測定を行い適切に搬送された。 5 埋戻し及び転圧は、仕様書に則り行われたことが確認できた。 6 整地工事は、仕様書等に則り施工されていたことが確認できた。 7 人員の配置(検査体制)が適切に準備されていた。 8 不可視部分は、工事記録写真で確認できた。 9 出来形に関し創意工夫及び熱意が見られた。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$
	出来ばえ	☐	☐	☐	1 電話、電気、ガス、水道、下水道等の閉塞が適切に行われていた。 2 整地等の仕上がりは、使用目的、使用者の安全に配慮されていた。 3 雨水排水等にきめ細やかな配慮がなされ、整地状態が良かった。 4 既存建物、工作物等との取り合い部の補修工事の仕上がりは良好であった。 5 周辺道路や既存建物・工作物への清掃、復旧等が適切に行われた。 6 現場の後片付け、清掃等が行き届いていた。 7 出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
	評価小計	0	0	0	$\left(\frac{AA+A}{0} \times 5/6 + \frac{B}{0} \times 0.5 \right) / \text{評価対象項目数} \times 100 + \frac{AA}{0} \times 100/24 = 0 \text{ 点}$

2025年4月

- 備考
- 1.各評価対象項目は、優良(AA)、標準(A)、指摘あり(B)の3段階評価とし、チェックボックスに「1」を入れる。
 - 2.優良(AA)の評価は、各細目で最大4項目までとする。
 - 3.評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

○ 八 契 契 第 号
令和 年(年) 月 日

殿

八王子市長 初 宿 和 夫

工事成績評定通知書

貴社が施工した工事について、八王子市工事成績評定取扱要領に基づき、工事成績評定の結果等を下記のとおり通知します。

記

契約番号		工事種	
工事件名			
工 期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで		
検 査 日	令和 年 月 日		
成績評定	総評定点 点（項目別評定点は別表のとおり）		

上記成績評定の結果に疑問がある場合は、下記の問い合わせ先に対して説明を求めることができます。

また、その説明に不服がある場合は、この通知を受け取った日から起算して14日以内（休日、祭日を含む。）に書面（第1号様式）により苦情の申立てを行うことができます。申立てに対しては、書面（第3号様式）により回答します。

総評定点80点以上の工事については、契約資産部契約課のカウンター及びホームページにて公表します。

成績評定の結果についての問合せ先
及び苦情申立書の提出先

契約資産部 契約課 品質管理担当
電話 042-620-7214（直通）

別 表

項 目 別 評 定 点

評 定 項 目 ・ 細 目			評 定 点	／満点
1 基 本 的 な 技 術 力	施 工 体 制	施工体制全般	0.00	／5点
		配置技術者	0.00	／5点
		対外調整	0.00	／5点
	現 場 管 理	安全衛生管理	0.00	／5点
		工程管理	0.00	／5点
	施 工 管 理 完 了 の 確 認	施工管理・関係書類	0.00	／15点
		品質管理	0.00	／15点
		出来形・出来ばえ	0.00	／30点
	2 技 術 力 の 発 揮		0.0	／5点
3 創 意 工 夫 と 熱 意		0.0	／5点	
4 社 会 的 貢 献		0.0	／5点	
5 法 令 ・ 契 約 等 の 遵 守		0	／-20点	
総 評 定 点		0	／100点	

※ 総評定点は、小数点以下を切り捨てた整数にしています。

※ 通常の評定は、「基本的な技術力」で評定をされています。

※ 「技術力の発揮」「創意工夫と熱意」「社会的貢献」は、「基本的な技術力」を踏まえて評価するため、評定されないことがあります。

※ 「法令・契約等の遵守」は、不適切・不履行な行為が行われた場合、最大20点が減点されます。